

# ロイコチトゾーン病

ロイコチトゾーン病はロイコチトゾーン・カウレリー (*Leucocytozoon caulleryi*) が寄生して起こる鶏の寄生虫病です。近年はウインドレス鶏舎が増えたことからヌカカが侵入しづらい環境になっており、発生は減少していますが注意が必要です。日本では家畜伝染病予防法において届出伝染病に指定されています。

- **媒介動物** 主にニワトリヌカカ。  
ニワトリヌカカが鶏を吸血する際に唾液とともに鶏の体内に寄生虫が注入され、感染が成立します。



ニワトリヌカカ

- **症状** 咯血、貧血、緑色便の排泄、発育遅延、産卵率低下などが認められます。
- **発生時期** 媒介するヌカカの発生時期と同じく、6月頃から発生、7～9月にピークを迎え、10月頃に終息します。
- **発生予防** ニワトリヌカカの発生を防除するため、鶏舎周囲の除草や忌避剤、殺虫剤の散布などの対策を行います。



\* 鶏の感染予防に関しては、週齢によって予防対策が異なります。



## ブロイラーおよび10週齢までの採卵鶏ヒナ

アンプロリウム・エトパベイト・スルファキノキサリンの合剤やハロフジノンポリスチレンスルホン酸カルシウムなどを飼料へ添加する。



## 10週齢以降産卵開始前までの採卵鶏ヒナ

サルファ剤など動物用医薬品を使用する。



**(注意)** 抗生物質飼料添加物、動物用医薬品には使用禁止期間、休薬期間が定められています。



## 産卵中の鶏

サルファ剤の投与は禁止されているため、ニワトリヌカカの数減らすことを目的に殺虫剤を散布して感染の機会を減らす。



**(注意)** 卵への殺虫剤移行を防ぐため、集卵後にエサ箱や水入れに入らないよう散布してください。

\* この他、5週齢以降の採卵鶏ヒナにワクチンを接種して症状の軽減を図る。

上記のような症状がみられたときは、家畜保健衛生所に御連絡ください。



家畜保健衛生所

(0776) 54-5104

嶺南家畜保健衛生センター

(0770) 45-0191

